

情報社会とコンピュータ		講義	教授 樽井 勇之
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目 教職科目	科目ナンバリング	21200106 25310106

1. 授業のねらい・概要

情報社会におけるコンピュータの機能、役割や情報社会における倫理について学ぶ。

今日の情報社会は、インターネットの普及により、必要なときに、必要な情報がどこにいても得られるユビキタス社会が実現されつつある。このような情報社会において、ビジネス活動や社会活動を効率よく行うためにはコンピュータを活用するための技能と知識が必要となる。一方で、インターネットなど情報通信を利用する場合には倫理面から守るべき規範（ネチケット）を身に付けておくことが必要となっている。

本科目では、情報および情報技術について基本的な知識、利用方法、情報社会における倫理、コンピュータの利用法について学習することにより、情報社会で活躍する上で役立つ知識を身に付けることをねらいとする。

2. 授業の進め方

講義中心に進めるが理解を深めるために定期的に小テストを行う。

3. 授業計画

1. 情報社会におけるコンピュータの役割	9. ソフトウェア：オペレーティングシステム
2. コンピュータの利用（1）	10. ソフトウェア：文書処理・表計算
3. コンピュータの利用（2）	11. ソフトウェア：データベース
4. 情報社会における倫理	12. パソコンとネットワーク
5. パソコンの構成：5大装置	13. インターネット
6. ハードウェアの機能：データの単位	14. コンピュータと仕事
7. ハードウェアの機能：記憶装置	15. まとめ
8. ハードウェアの機能：周辺装置	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業内容を記載したノートをもとに小レポートとして出題された内容の復習に1時間程度必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題を出題後にヒントを与え、次回授業時に解答のポイントを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

情報および情報技術を理解し、大学に設置されているコンピュータ利用が円滑かつ適正に行えることを目的とする。

7. 成績評価の方法・基準

小テスト（50%）、期末試験の結果（50%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

教科書は特に指定しない。

9. 受講上の留意事項

講義と同時に小テストを行うので、欠席しないこと。また、講義の内容を理解するためにノートをきちんととること。理解できないときは積極的に質問してください。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。